

「プチっとキエーロ」取り扱い説明書



(目次)

- | | |
|-----------------------|------------|
| 1. はじめに（用意するもの） | ・・・・・・・・P1 |
| 2. プチっとキエーロの置き場を決めよう！ | ・・・・・・・・P1 |
| 3. プチっとキエーロに黒土を入れよう！ | ・・・・・・・・P1 |
| 4. 生ごみの投入量を知っておこう！ | ・・・・・・・・P2 |
| 5. 生ごみの投入場所を知っておこう！ | ・・・・・・・・P2 |
| 6. 入れて良いもの。悪いもの。 | ・・・・・・・・P2 |
| 7. 生ごみを投入しよう！ | ・・・・・・・・P3 |
| 8. トラブル解決シート | ・・・・・・・・P4 |
| 9. 冬を乗り越えるためのテクニック | ・・・・・・・・P5 |
| 10. キエーロ（フルスケール版）について | ・・・・・・・・P6 |
| 11. その他問い合わせについて | ・・・・・・・・P6 |

1. はじめに

(用意するもの)



小ぶりのシャベル
ステンレス製が洗いや
すく臭いがつきにくく
おススメ。



生ごみを入れる
フタ付き容器

2. プチッとキエーロの置き場を決めよう！

日当たりと風通しが確保できる場所を選びましょう。
土中のバクテリアが生ごみを分解します。バクテリアは太陽の光と酸素が大好き。最低でも2～3時間以上（できれば午前か午後の半日）の日当たりを必要とし、日が当たれば当たるほど分解能力が高くなります。



ベランダに

アパートやマンションにお住まいの方

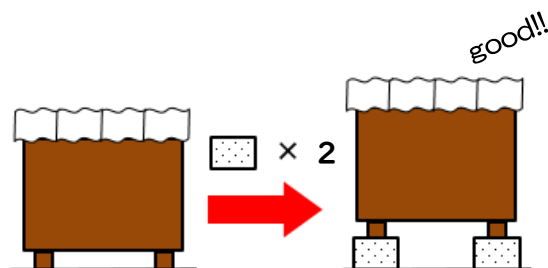


お庭に

一軒家にお住まいの方

(ポイント!!)

土の上に設置する場合は、プランターが沈み込んで底面の空気穴をふさがないようにレンガなどの敷石をしてください。



3. プチッとキエーロに黒土を入れよう！

設置場所が決まったら、いよいよ黒土をプランターの中へ投入しよう。
こぼれないように慎重に入れよう。



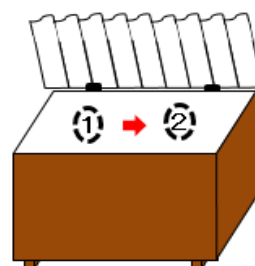
4. 生ごみの投入量を知っておこう！

1回あたりの生ごみの投入量はおよそ200から300グラム程度です。分解には夏場で3～5日、冬場は2～3週間を要しますので、分解状況に応じて投入量や頻度を調整してください。



5. 生ごみの投入場所を知っておこう！

あらかじめ生ごみを埋める穴の数を想定しておきましょう。「プチッとキエーロ」は2か所に埋めることが可能です。



6. 入れて良いもの。悪いもの。

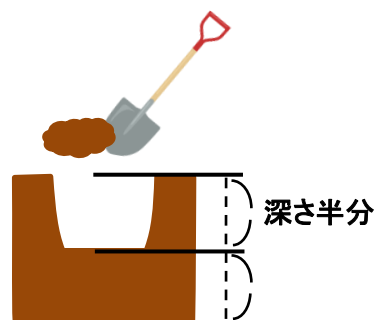
◎良い (分解早い)	・野菜、肉類などの食物 ・てんぷら油などの廃油 ・ラーメンの残り汁、みそ汁 ・カレー、シチュー ・マヨネーズ、ヨーグルトなど
○良い (分解遅い)	・生野菜の芯や葉 ・グレープフルーツ ・みかん等の皮 ・魚類などの小さな骨など
×悪い (分解出来ない)	・卵の殻、貝殻、タケノコの皮 ・たまねぎの外側の皮 ・トウモロコシの芯や毛 ・豆類のさやの筋 ・アボカド、梅干しなどの大きな種 ・鶏や豚などの骨など

7. 生ごみを投入しよう！

準備ができたなら、さあ、始めましょう！！

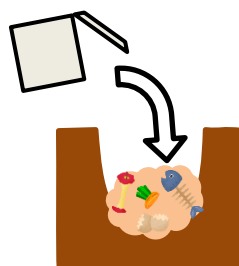
キエー口を上手に使うための大切な4つの基本動作です。

①プランター半分ぐらいの深さの穴を掘ります。



②生ごみを投入します。

1回あたりの生ごみの投入量はおよそ200から300グラム程度です。分解には夏場で3～5日、冬場は2～3週間を要しますので、分解状況に応じて投入量や頻度を調整しよう。



③生ごみと土の見分けがつかなくなるまでザクザク混ぜよう。

生ごみをザクザクと出来る限り小さく碎きながら、土をよく絡めるように混ぜます。

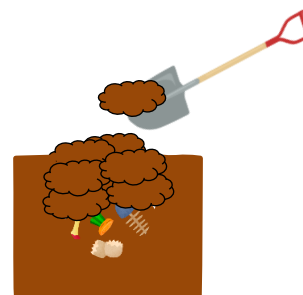
土や生ごみが乾燥して絡みづらい場合は、適量の水分を加えて混ぜてください。

※水分の入れすぎには注意しましょう。



④乾いた土をたっぷりかけてフタをしよう。

最後に、乾いた土で穴を埋め戻します。表面の土が湿っていると、臭いが上がってきて虫を呼び寄せてしまいます。表面の土は常に乾いた状態を保ってください。



⑤消えたかどうか確認してみよう。

土のかぶせ方が浅いと虫が来ちゃうよ！

生ごみの種類によって分解にかかる時間の差があります。

(早いもの) 残飯、肉、魚類など

(遅いもの) 野菜の皮、野菜の芯など



8.トラブル解決シート

虫が発生した	
●コバエ	
原因	対策
生ごみが表面に出ていませんか？生ごみが浅いところに埋まっていますか？	虫が寄ってくる臭いの原因になります。プランター深さ半分のところに埋めなおしましょう。
土の表面が湿っていませんか？	中の生ごみの臭いが外に漏れやすくなります。乾いた土をかぶせるか、表面が乾くまで生ごみの投入を控え、空気を混ぜながら生ごみを分解しきってしまいましょう。
緊急対応	殺虫剤を使用しても分解には影響ありません。
●ミズアブの幼虫	
原因	対策
生ごみが土と混ざらずに塊になっていませんか？	土と混ぜ合わせなければ生ごみの分解が進まず、臭いの原因となって成虫が卵を産みにやってきます。埋める際はよく土と生ごみを混ぜましょう。
生ごみが表面に出ていませんか？	虫が卵を産みに寄ってくる臭いの原因となります。しっかり中に埋めましょう。
緊急対応	土をかぶせて放置します。生ごみが分解されれば死滅します。また、熱湯を少量かけて退治することもできますが水分量に気を付けましょう。
臭いがする	
●掘り起こすと臭う	
原因	対策
中で土が固まっていますか？	空気が不足しています。空気を入れるように混ぜて分解を進めてあげましょう。
中で水分がべちょべちょになっていませんか？	水分が多すぎです。乾いた土と混ぜ合わせて水気を緩和し、生ごみが分解されるまで投入を控えましょう。
生ごみが多すぎませんか？	生ごみは200g～300gを3～5日（夏場）に1度程度投入できます。入れすぎると分解が追いつかなくなり、臭いや虫の原因となります。分解しやすいものだけにするなど投入日や量を減らしましょう。
魚の内臓など臭いの強い生ごみを入れましたか？	分解途中は掘り起こすと臭いがします。分解されるまで掘り起こさないようにしましょう。
緊急対応	乾いた土を表面にかぶせると臭いが緩和されます。
●表面が臭う	
原因	対策
土の表面が湿っていませんか？	中の生ごみの臭いが外に漏れやすくなります。乾いた土をかぶせるか、表面が乾くまで生ごみの投入を控え、空気を混ぜながら生ごみを分解しきってしまいましょう。
生ごみが浅いところに埋まっていますか？	少し深めに埋めなおすか、上に乾いた土をかぶせましょう。
緊急対応	乾いた土を表面にかぶせると臭いが緩和されます。
生ごみが消えない	
原因	対策
生ごみと土をよく混ぜていますか？	穴に生ごみを入れ、土をかぶせるだけでは分解が進まず、虫やにおいの発生の原因となります。生ごみと土をよく混ぜ合わせることで分解しやすくなるので、生ごみを入れたら土と一緒にシャベルでザクザクしてから土をかぶせてください。
使い始めて間もないですか？	初めはバクテリアが少ないので分解に時間がかかりますが、生ごみの投入を続けるうちに分解が進むようになります。
野菜が残っていることが多いですか？	野菜（主に皮や芯）は分解に時間がかかりますが、いずれ分解されます。次の生ごみを一緒に埋めても大丈夫です。乾燥した野菜くずが多いときは適量の水分や廃食油を加えると分解しやすくなります。（水は入れすぎないように注意してください。）
中がどろどろで生ごみが全体的に残っていますか？	水分が多すぎです。乾いた土と混ぜ合わせて水気を緩和し、生ごみが分解されるまで投入を控えましょう。
底のほうで土と一っしょに固くなっていますか？	空気が不足しています。空気を入れるように混ぜて分解を進めてあげましょう。
白っぽい土の塊になっていませんか？	色っぽいカビのようなものは分解が進んでいることを表しています。シャベルで塊を砕いておけば完全に分解されるので、次の生ごみを一緒に埋めて問題ありません。
気温が下がってきていませんか？	寒くなって気温が下がると分解が遅くなります。説明書の「冬テク」をご覧ください。

9. 冬を乗り越えるためのテクニック

気温の低い冬はバクテリアの活動も鈍く、分解が遅くなります。
寒い冬を乗り越えて、快適なキエーロライフを送るには・・・

冬テク 1

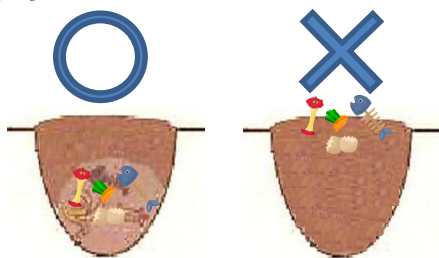
いつもより土をよく混ぜるのが基本

冬は土も冷えてかたくなりがち！分解中の塊をほぐすだけでなく、シャベルを刺すようにして全体的に空気を入れ、ふかふかの土を保つことが大切です。

生ごみの分解がすべて終わった頃を見計らい、一度底のほうから掘り返してみましょう。

空気の入った土はやわらかく作業もラク。分解も早まります。

新たに生ごみを投入したら、生ごみが表面に出ていないかのチェックも忘れずに！



冬テク 2

いつもより長めにためる

野菜くずなどバクテリアの苦手なものはフタ付の容器にいつもより長めにためておくことで分解しやすい状態になります。

屋内に置いてても臭いが気になりにくい冬ならではのコツ。

分解しやすい肉や魚は早めに埋めて、野菜類は長めにためてから埋めると良いでしょう。



冬テク 3

使い終わった油が分解を早める



使い終わった食用油はバクテリアの働きを活発にし分解を早めます。

廃食油を容器に取っておいて、野菜くずをたくさん埋めるときなどに一緒に混ぜると効果的です。

冬テク 4

生の野菜くずは小さくor熱を通す

特に時間がかかるのが生の野菜くず。小さくきざむか、調理時に出た下ゆでの残り湯にしばらくつけておく。または、使い終わったフライパンに水を足し、余熱を利用して軽く火を通すのも◎。マメな方にはおすすめの方法です。

余熱を使えば
フライパンの
汚れも落として
一石二鳥



冬テク 5

埋めるものと、燃えるごみに出すものを分ける

「工夫しているのに・・・」消えるのが遅い。そんなときはムリして全量埋めるのではなく、いくらかはごみの収集に出すのも手。分解しにくいものは燃えるごみの収集に出し、魚や肉など分解しやすいものを中心に埋めるなど、キエーロに無理をさせないのも上手に使うコツです。

●●●●●●● 生ごみは土の温度を上げる ●●●●●●●



生ごみの分解中は土の温度が10～20度ほど高くなりますが、埋めると土の温度は下がってしまいます。少しずつでも継続的に生ごみを入れたほうが土の中の温度が保たれ、順調に分解を続けることができます。

10. キエーロ（フルスケール版）について

「プチッとキエーロ」は、キエーロの魅力を体験してもらうために小さくした入門用です。フルスケールサイズのカエーロは、幅90cm×奥行45cm×高さ88cmのサイズで、一般的な3～4人家族から出る生ごみを消せるほどのものです。プチッとカエーロからステップアップしたい人はぜひカエーロの購入をご検討ください。島田市ではカエーロの購入費用の約50%を補助しているのでお得に購入することができます。

👉 詳細はこちら 👉



11. その他問い合わせについて

その他、ご不明な点が御座いましたら次の連絡先までお願いします。

島田市環境課衛生係

〒427-0006

静岡県島田市阿知ヶ谷864

TEL：0547-35-3744（平日8:30～17:15）

FAX：0547-35-5258